

リフォームのプロが選ぶ 平成のリフォーム大賞

キーワードは
エコ

まもなく新しい令和の時代が始まります。
平成30年間で住宅リフォームは著しい進化を遂げました。
そんな中でも特におすすめしたいリフォームを
平成のリフォーム大賞としてご紹介いたします。

節水トイレ

1回
あたりの
洗浄水量

平成
元年 13
リットル

令和
元年 3.8
リットル

約
1/3

少ない水量で
しっかり洗える!

家庭で消費される水の中で、トイレでの消費が一番多いのをご存知ですか?従来型のトイレでは家族4人のご家庭だと、年間で約76,000リットル、浴槽約316杯分がトイレの洗浄に使われていることに。これを節水型トイレに変えると...

浴槽 236杯分、年間15,000円分節水になります。

※4人家族での試算

さらに...

最新型の温水洗浄便座なら
節水・節電性能も向上しています。

省エネ 照明&給湯

平成の大発明!!
白色LEDとエコキュート

平成24年に白熱電球の国内生産が終了して6年。白熱電球にくらべてエネルギー効率が約6倍、寿命が約40倍と省エネ・長寿命のLED電球が普及が進んでいます。発売当初は高額だったLED照明機器もお求め安くなっており、電球の寿命や交換の手間を考えると機器交換がおすすめです。

またエコキュートは、平成13年に商品化された、「**空気**の熱」を利用した省エネ給湯機です。熱効率が300%と非常に高いのが特長で...

年間22,000円節電に!

※熱交換効率78%のガス給湯器と比較

ガス給湯 95%
エコキュート 300%
約3倍
熱変換効率

さらに...

太陽光発電との組み合わせで、
グリーンな給湯システムを実現します。

太陽光発電

1kw
あたりの
設置費用

災害時も大活躍!日本を代表する再生可能エネルギー。

住宅用の太陽光発電の普及が始まった平成5年の4kwシステムの設置費用はなんと1,480万円!!とても一般家庭で導入できる価格ではありませんでした。その後、補助金制度や売電制度の充実でじわじわと普及し、平成23年の東日本大震災において自家発電の価値が改めて認識されたのも普及を後押ししました。平成21年に始まった固定価格買取制度は順次終了しますが、現在の設置費用は当初の1/10以下。気軽に設置ができて災害時も安心な太陽光発電は、令和の時代でも引き続き注目のリフォームアイテムと言えるでしょう。

平成5年
370
万円

令和元年

30.8
万円

約
1/12

さらに...

エコキュートやプラグインハイブリッドカーとの組み合わせでさらなる省エネを実現。